

# 市職員の給与や職員数などの情報の公開

人事課 内線2152

条例に基づき、五所川原市人事行政運営等の状況を公表します。  
詳しくは、市ホームページでも閲覧できます。

## 職員数に関する状況

### (1) 総職員数（令和2年4月1日現在）

区 分	条例定数	職員数
市長事務部局	440	367
議会事務部局	7	4
監査委員事務部局	3	3
選挙管理委員会事務部局	4	2
農業委員会事務部局	12	7
教育委員会	100	56
水道事業事務部局	45	31
計	611	470

### (2) 職員数の増減（各年4月1日現在）

職 種	H31	R2	増減
一般事務職	380	381	1
保健師	18	18	0
医師	2	2	0
医療技術職・栄養士	4	5	1
看護師	3	3	0
専任教員	6	6	0
技能労務職	23	18	△5
教育職	6	6	0
企業職	31	31	0
計	473	470	△3

## 一般職員の勤務時間、休憩時間の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8時30分
終了時刻	17時15分
休憩時間	12時～13時

## 一般職員の年次有給休暇の状況

付与日数（1年間）	20日
繰越限度日数（1年間）	20日以内
平均取得日数（令和元年実績）	13.5日

## 育児休業の取得状況

区 分	育児休業取得者数		令和元年度中に新たに取得可能となった職員	取得率
	令和元年度新規取得者数	前年度から取得中の者		
男性職員	3	0	8	37.5%
女性職員	5	5	5	100.0%
計	8	5	13	61.5%

## 人事評価の状況

職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力および挙げた業績を公正に把握することで、能力と実績に基づく人事管理を行うことにより、組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、最終的には住民サービスの向上の土台をつくることを目的としています。

評価方法…能力評価および業績評価

評価期間…4月1日～3月31日

\*人事評価は、地方公務員法の規定により平成28年4月から実施が義務付けられています。

## 職員研修の状況（令和元年度）

研修区分	研修名	受講者数
職員内部研修	業務・事務研修等	278人
派遣研修	自治大学校	2人
	市町村職員中央研修所	6人
	全国市町村国際文化研修所	4人
	東北自治研修所	2人
実務研修	青森県自治研修所基本研修	110人
	青森県自治研修所選択研修	22人
その他研修	市町村総合事務組合	1人
	青森県都市職員海外研修	1人
	市町村緊急行政課題研修	3人

## 分限および懲戒処分の状況（令和元年度）

分限処分		懲戒処分	
免職	0件	免職	0件
降任	0件	停職	0件
休職	3件	減給	0件
降給	0件	戒告	2件
計	3件	計	2件

## 職員の給与の状況

### (1) 人件費等の状況（令和元年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (R2.1.1)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	30年度の 人件費率
53,965人	31,575,233千円	577,041千円	3,136,817千円	9.9%	10.7%

### (2) 職員給与費の状況（令和元年度普通会計決算）

職員数 (H31.4.1)	給与費			1人当たり 給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	
397人	1,473,067千円	172,152千円	555,293千円	2,200,512千円

\*職員手当には退職手当および児童手当は含みません／給与費については、再任用短時間勤務職員の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません／普通会計とは、一般会計と高等看護学院特別会計を合わせたものです。

### (3) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況（令和2年4月1日現在）

区 分	① 一般行政職			② 技能労務職		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (国ベース)	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (国ベース)
五所川原市	41.0歳	302,200円	334,711円 (324,560円)	52.2歳	332,100円	344,799円 (345,402円)
青森県	42.9歳	314,400円	376,979円 (343,748円)	51.6歳	301,800円	335,212円 (321,641円)
国	43.2歳	327,564円	— (408,868円)	50.9歳	287,283円	— (328,862円)

\*「平均給与月額」は、給料月額、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の合計額「(国ベース)」は、時間外手当等を含みず公表されている国家公務員の給与と同じ方法で再計算したものです。

### (4) 一般行政職の級別職員数等の状況

(令和2年4月1日現在)

区 分	標準的な職務の内容	職員数 (人)	構成比 (%)	1年前の 構成比(%)
7級	部長	8	2.3	2.6
6級	参事	4	1.2	0.9
5級	課長	36	10.5	10.2
4級	課長補佐・主幹	123	35.7	36.3
3級	係長・主査	46	13.4	11.3
2級	主任	77	22.4	23.3
1級	主事	50	14.5	15.4
計		344	100.0	100.0

\*五所川原市の給与と条例に基づく給料表の級区分による職員数です／標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

### (5) 職員の手当の状況（令和元年度決算額）

支給職員1人当たり平均支給年額

期末手当・勤勉手当	1,470,000円
退職手当	19,342,000円
地域手当	1,273,728円
特殊勤務手当	206,651円
時間外勤務手当	144,199円
扶養手当	223,112円
通勤手当	73,857円
住居手当	256,128円
管理職手当	418,373円
管理職員特別勤務手当	12,000円
初任給調整手当	2,647,200円
休日勤務手当	16,490円
寒冷地手当	63,176円

### (6) 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区 分	給料報酬月額	期 末 手 当			加算措置
		支 給 割	合		
		6月期	12月期	年間(計)	
市長	750,600円	1.625 月分	1.625 月分	3.25 月分	20%
副市長	612,900円				
教育長	547,200円				
議長	425,000円				
副議長	381,000円				
議員	352,000円				

\*市長、副市長、教育長の給料報酬月額を10%減額しています。また、今年度6月期は特別職の期末手当を20%減額しています。